

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	金武湾港宇堅海浜公園	対象年度	令和4年度
------	------------	------	-------

【目次】

I. 履行確認・評価		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	2
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業	3
II. サービスの質の確認・評価	4
III. 財務状況の確認・評価	5
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	8
1. 目標		
2. 評価結果		
附表 経営状況分析シート	9

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	金武湾港宇堅海浜公園		対象年度	令和4年度
指定管理者	株式会社丸将 指定期間: 令和4年4月～令和9年3月		所管課	土木建築部 海岸防災課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ゴミ回収、緑地等の草刈り、砂浜・トイレ・シャワー室等の清掃	○	○ (ゴミ回収)	事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	施設内の清潔が保たれている。今後も適切な衛生管理に努める。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内の設備を点検	○	○ (浄化槽維持管理)	事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切な保守・点検に努める。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内を巡回警備(管理施設・駐車場・砂浜・護岸他)	○		事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切な保安・警備に努める。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的な巡回により、優先順位をつけ、効率的に修繕を実施	○		事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	優先度の高い箇所より適切に修繕を実施。利用者の安全性と利便性に配慮し今後も適切な修繕を行う。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な事務用・維持管理用備品の購入	○		維持管理用草刈り機、売店のかき氷器購入	現地及び業務報告書で確認		今後も必要に応じ、優先順位、コストを考慮して備品の購入を行う必要がある。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
監視員の配置、定期的な防災訓練、危険生物防止ネットや救護用具(レスキューボート、AED等)の設置	○		事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切に防犯・防災対策をとること

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
シャワー料金、駐車場料金の徴収を行う	○		事業計画のとおり実施	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切に利用料金を徴収すること

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	R4年4月より、新たな指定管理者として業務を開始、これまでのコロナ禍による施設閉鎖により、施設の至る所で破損や修正の必要な箇所の確認、対応を行い、施設利用者の安全管理に努めた。 今後も利用者の安全性と利便性に配慮し、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕を実施していく。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和3年度実績	事業計画 (目標値)	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
利用者数	個人利用者数	5,892	—	13,860	235%	—	令和3年度より利用者数は倍増したものの、団体利用者については、県内のコロナ感染状況の変動によりキャンセルが生じたため伸び悩んだ。 4月から8月は天候にも恵まれ、個人利用者については順調に増加したものの、9月より約1ヶ月続いた台風11号12号14号の影響により、全体として利用者数は伸び悩んだ。
	団体利用者数	127	—	530	417%	—	
	計	6,019	45,000	14,390	239%	32%	
				評価(①利用状況)	C		

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 教室・イベント等参加者実績

	内容	令和3年度実績	事業計画	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
イベント	海開き及びフリーマーケットイベント	0	30	50	皆増	167%	4/23開催イベント等について情報発信を積極的に行う必要がある。
	学校遠足	0	50	160	皆増	320%	うるま市内県立高校2校がBBQで利用した。
	BBQ、マリンスポーツ、キャンプ他イベント	0	80	100	皆増	125%	各種団体によるイベント利用
	宇堅ビーチクリーン活動	42	150	0	皆減	0.0%	オフシーズン中に開催を企画したが主催者都合でキャンセルになった
	旧車会撮影イベント	0	0	100	皆増	皆増	10/9イベント開催
	元旦初日の出	0	100	100	皆増	100.0%	牛汁100食無償提供
	ドッグラン (3/1~)	0	新規	20	皆増	皆増	新規事業(南側緑地帯に会場設置)
計		42	410	530	1262%	129%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉	365日	業務報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	4月以降はコロナの影響が残り、団体の予約のキャンセルが続いたが個人利用者については昨年度より増加傾向となった。 9月から10月にかけての連続した台風の襲来でビーチが使用できず、マリンスポーツ等ビーチが使用できなかったことが収益の大きな打撃を受けることになった。 3月よりドッグラン会場をオープンして、閑散期における自主事業の幅を広げる施策を実施。
〈開館時間〉	4/1~3/31 8:30~20:00	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	
	※ビーチ開設期間 4/23(海開き) ~10/31	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
丁寧な対応を心がけ、予約、連絡ミスが少ない	○		事業計画のとおり実施できた	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	利用者に対してスタッフが丁寧に対応しており、今後もより良い対応を心がけること

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP作成、SNS(インスタ、フェイスブック)掲載	○		事業計画のとおり実施	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	集客増に向けて、HP更新及びSNS発信等工夫するなど効果的な広報に努めること。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
予約台帳等の個人情報適切に管理する。	○		事業計画のとおり実施した	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	トラブルなどは特に発生しておらず、引き続き適切な管理に努めること

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
バーベキュー	○		バーベキュー食材の販売、器材のレンタル	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切な接客対応に努めること。
マリンスポーツ体験	○		バナナボート・ジェットスキー等	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
レジャー用品レンタル	○		パラソル等のレンタル	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
売店	○		飲物、軽食等の販売	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	顧客ニーズ対応に努め、今後も適切なサービス提供すること。
自動販売機	○		飲料自動販売機を設置	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	品切れ等に留意し、今後も適切なサービスを提供すること。
施設使用料	○		東屋、緑地帯施設貸出	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切に安全に配慮したサービスを提供すること。
ドッグラン	○		閑散期に実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	事業周知や顧客ニーズ対応に努め、閑散期の集客効果を高めること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	9月から10月にかけての連続した台風の襲来でビーチが使用できず結局は11月のビーチクローズまで使用できなかったことが収益の大きな打撃を受けることになった。 3月より施設利用者の要望もあり、ドッグラン会場を新設した。閑散期における自主事業の幅を広げる施策を実施。 引き続き、施設利用者の利便性向上のため、県と指定管理者で連携して、シャワーの温水化やトイレ洋式化の改修等進めていきたい。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(a+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅱ. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法	管理事務所にて施設利用者へ配布	回答者数	10名	アンケート内容	別紙(資料8)参照
評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者	現状分析・課題
	令和3年度評価	令和4年度目標	令和4年度評価		
維持管理業務 施設・設備管理(シャワー、トイレ)	〈満足度〉100%(※1) ・満足0% ・やや満足100% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉80%(※1)	〈満足度〉100%(※1) ・満足0% ・やや満足100% ・やや不満0% ・不満0% 〈改善要望〉 和式トイレから洋式トイレに変更してほしい。	S (要望への対応) 施設は古いですが、清潔感を心がけて清掃している。破損箇所は、使用禁止にするなど安全管理を実施している。 (自己評価) スロープ下の岩がむき出しになっている箇所があり、県と協議し、中部土木事務所が対応している。南側更衣室の破損箇所及び洋式トイレ改修については、県と調整している。	岩がむき出しになっている箇所については、中部土木事務所が適宜対応している。その他破損箇所など修繕箇所については、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕等を実施していく。
運営業務 接客対応	〈満足度〉100%(※1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉80%(※1)	〈満足度〉100%(※1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0% 〈改善要望〉 特になし。 利用者評価として、「スタッフの対応も丁寧でよかった」とあった。	S (要望への対応) 特になし。 その他対応として事務所にコロナウイルス感染症対策を実施しBBQの受渡やマリンスポーツの受付を行った。 (自己評価) 引き続き、丁寧な接客対応等に努める。	丁寧に利用者の対応をしていると考える。接客に係るクレーム等はない。
自主事業 (BBQ会場、ビーチ)	〈満足度〉100%(※1) ・満足75% ・やや満足25% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉80%(※1)	〈満足度〉100%(※1) ・満足0% ・やや満足100% ・やや不満0% ・不満0% 〈改善要望〉 遊泳区域を広くしてほしい。 その他意見として「海水浴場はコロナ感染防止対策で遊泳禁止であったがBBQができてよかった。」	S (要望への対応) 遊泳区域を拡大するため、次年度はビーチ北側への変更を検討する。 その他の対応として、水難事故が起きないように、水難救助資格保有者をリーダーとして監視体制を強化した。 (自己評価) 引き続き、利用者の利便性向上に努める。	施設内を清潔に保ち、整備については定期的に点検を行うなどトラブル防止に努めること。 遊泳区域を拡大するため、次年度はビーチ北側への変更の検討については、うるま署へ遊泳区域変更の手続きを行い、監視体制について強化を図り、水難事故防止を図ること。
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉100%	〈満足度〉80%(※1)	〈満足度〉100% ・満足33.4% ・やや満足66.6% ・やや不満0% ・不満0%	評価 (②満足度) S	(自己評価) 指定管理初年度で運営方法について改善する点もあるが、大きな事故やトラブルもなく無事に1年を終えることができた。 施設の清潔さやスタッフ対応の良さ等の意見があり、顧客満足度の高さがうかがえる。今後とも満足度の維持・向上のため、創意工夫に努めること。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

Ⅱ. サービスの質の確認・評価 取組改善案	維持管理や運営業務、自主事業において適切な対応に努めている。施設・設備の修繕の必要が生じた場合は迅速に対応する等、より一層の顧客満足度の向上及び顧客ニーズを捉えたサービスの提供に努めること。アンケート回収数が少ないので、多言語対応も含めて取り組みの改善を行う。
--------------------------	--

※「Ⅱ. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

III. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		令和3年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	駐車場	474,000	2,420,000	—	1,305,500	275.4%	53.9%	1台500円
	シャワー料	0	440,000	—	240,800	皆増	54.7%	1回200円
	計	474,000	2,860,000	—	1,546,300	326.2%	54.1%	
指定管理料		—	—	—	—	—	—	利用料金制のため
自主事業収入	バーベキュー(器材・食材等)	629,670	9,200,000	—	1,940,500	308.2%	21.1%	食材その他BBQ備品レンタル
	レジャー関係備品レンタル料等	34,000	750,000	—	119,000	350.0%	15.9%	浮き輪レンタルなど
	マリンスポーツ体験料	0	3,500,000	—	450,000	皆増	12.9%	
	売店	49,300	820,000	—	555,487	皆増	67.7%	売店販売売上
	自動販売機	207,126	250,000	—	261,494	126.2%	104.6%	自動販売機売上
	施設使用料	302,300	2,250,000	—	531,000	175.7%	23.6%	管理棟2階や東屋の貸出
	イベント事業費	0	1,500,000	—	0	皆減	0.0%	
	台風被害復旧、施設修繕費	2,103,530	0	—	0	0.0%	皆減	台風被害復旧は年度末に実施。完了検査後、請求手続がR5年4月となり、次年度会計に計上
	その他(持込テント、払戻金)	183,806	0	—	0	皆減	皆減	
	地方創生臨時交付金(県)	8,113,000	0	—	0	0.0%	皆減	
雑収入	0	0	—	108,500	皆増	皆増	ロッカー手数料、ごみ袋等	
計	11,622,732	18,270,000	—	3,965,981	34.1%	21.7%		
合計(A)		12,096,732	21,130,000	—	5,512,281	45.6%	26.1%	
参考:台風被害復旧等を除いた額		9,993,202	21,130,000	—	5,512,281	55.2%	26.1%	
(現状分析・課題)								
<p>利用料金収入は前年度比約3倍と増加しているが、9月の台風被災のため、利用客が減少し、事業計画比の約5割止まりとなった。自主事業収入は、BBQ収入が前年比約3倍と大きく増加したが、台風に伴うキャンセルにより事業計画比では約2割止まりとなった。新規事業のドッグラン運営なども実施着手している。</p>								

(2) 支出(指定管理業務)

支出項目		令和3年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
人件費		8,266,911	8,400,000	—	5,513,799	67%	66%	職員3人(給与、賞与、交通費、法定福利費)
需用費		1,267,630	1,330,000	—	866,238	68%	65%	経費節減に伴う需要費の削減 ・燃料費16千円(草刈機用) ・光熱水費849千円(シャワー水)
役員費		315,900	230,000	—	138,280	44%	60%	経費節減に伴う役員費削減 ・手数料2千円(振込等) ・保険料117千円 ・修繕費19千円
委託料		148,000	476,000	—	1,289,200	871%	271%	委託業務量の増 ・塵芥収集業務 79千円 ・浄化槽管理396千円 ・駐車場管理 814千円
使用料及び賃借料		696,070	120,000	—	0	0%	0%	PC・電話機及び草刈機リース
広告宣伝費		0	360,000	—	0	0%	0%	
印刷製本費		0	120,000	—	0	0%	0%	
備品購入費		12,420	260,000	—	0	0%	0%	
負担金		20,375	0	—	0	0%	0%	
公租公課		6,000	10,000	—	200	3%	2%	
報償費		69,300	0	—	0	0%	0%	
その他一般管理費		0	510,000	—	0	0%	0%	

その他(台風被害復旧費用立替金)	2,103,530	0	—	0	0%	0%	台風被害復旧は年度末に実施。完了検査後、請求手続がR5年4月となり、次年度会計に計上
合計	12,906,136	11,816,000	—	7,807,717	60%	66%	
参考:台風被害復旧費用立替金を除いた額	10,802,606	11,816,000	—	7,807,717	72%	66%	

(2) 支出(自主事業)

支出項目	令和3年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
人件費	0	0	—	0	0%	0%	
賃金	0	2,590,000	—	0	0%	皆減	
報酬費	0	730,000	—	0	0%	皆減	
旅費交通費	0	0	—	2,590	0%	皆増	
交際費	0	0	—	0	0%	0%	
需用費	326,135	750,000	—	352,113	108%	47%	BBQ関連消耗品、光熱水費、燃料費
印刷製本費	0	120,000	—	0	皆増	皆減	
役務費	0	340,000	—	111,976	0%	33%	保険料、燃料費、通信費、手数料
委託料	0	230,000	—	52,470	皆増	23%	イベント、マリンレジャー関連
使用料及び賃借料	0	—	—	0	0%	0%	
原材料費	0	3,270,000	—	812,246	皆増	25%	BBQ関連食材費等
備品購入費	0	0	—	230,177	0%	皆増	売店備品の購入
修繕費	0	0	—	48,092	0%	皆増	売店内壁の補修
負担金	0	0	—	0	0%	0%	
広告宣伝費	0	360,000	—	0	0%	皆減	
公租公課	0	10,000	—	0	0%	皆減	
その他(一般管理費等)	0	290,000	—	0	0%	皆減	
合計	326,135	8,690,000	—	1,609,664	494%	19%	
合計(指定管理料+自主事業)(B)	13,232,271	20,506,000	—	9,417,381	71%	46%	
参考:台風被害復旧費を除いた額	11,128,741	20,506,000	—	9,417,381	85%	46%	

(現状分析・課題)

全体的に計画費より少ない金額になった。初年度ということもあり、初期費用で経費は増加した。また委託費用に関して計画時には「委託費用」として考えていなかった為大幅に増加した形になった。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	令和3年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-1,135,539	0	—	-3,905,100	343.9%		台風被害復旧費用を除く
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	-11.4%	#DIV/0!	—	-70.8%	623.5%		台風被害復旧費用を除く
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	4.7%	#DIV/0!	—	28.1%	591.4%		台風被害復旧費用を除く
人件費比率 (人件費/支出(B))	74.3%	#DIV/0!	—	58.5%	78.8%		台風被害復旧費用を除く
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	1.3%	#DIV/0!	—	14.2%	1071.3%		台風被害復旧費用を除く
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	1,849	#DIV/0!	—	654	35.4%		台風被害復旧費用を除く
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	—	—	—	—	—	—	指定管理料なし

(現状分析・課題)

初年度ということもあり、初期費用で経費は増加した一方、見込んでいた自主事業の収益が少なかった為大幅な赤字になってしまった。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

評価(③財務状況)

C

【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支/収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

III. 財務状況の確認・評価 取組改善案	令和4年度は台風の影響が大きかった。令和5年度はオフシーズンの自主事業の強化を図り、団体利用者の誘致、収益率の高いイベントの見直しを検討する。
--------------------------	---

※「III. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置が確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2023 (R5年度)	2024 (R6年度)	2025 (R7年度)	2026 (R8年度)	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数 47,300	50,000	52,000	55,000	毎年利用者5%増を目標に設定
	②満足度	満足度 90%	90%	95%	95%	既存のサービスを維持 利用者満足度に反映
財務指標	③財務状況	収益率 0%	2%	2%	5%	自主事業の強化に 取組収益率を上げていく

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和3年度実績	事業計画(目標値)	令和4年度実績		現状分析・課題	評価(点数)	取組改善案	令和5年度目標値	
				前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	6,019	45,000	14,390	239%	32%	C (-10)	今後は、関係団体や観光団体等と連携したイベント開催を模索するなど、修学旅行や遠足等の学校行事の誘致に努めること。	47,300	
	②満足度	100%	80%	100.0%	100%	125%	S (20)	今後も、顧客満足度の向上及び顧客ニーズを捉えたサービスの提供に努める。	90%	
財務指標	③財務状況	11%	0%	-70.8%	-620%	#DIV/0!	C (-5)	計画したイベントの確実な実施及び拡充と、オフシーズンの新規事業であるドッグラン運営など、収入増につなげる方策を強化する必要がある。	0%	
活動指標	④重点取組事項	安全安心保安警備	安全安心に施設が利用できるように警備巡回や休園中、無断遊泳者へ注意喚起を実施した。	安全安心に施設が利用できるように警備巡回や遊泳の監視員を配置			A (5)	ライフセービングプログラムの受講やAED講習など、民間が実施している安全講習などを受講させる。	安全安心に施設が利用できるように警備巡回や遊泳の監視員のスキルアップを図る。	
総合評価		概ね適正に管理されている。運営の継続性・安定性を確保するため、自主事業の強化を図るなど収益率の向上に取り組む必要がある。						B (10)		

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「 α +1年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S : 目標を大きく上回る

A : 目標を概ね達成

B : 目標を下回る

C : 目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

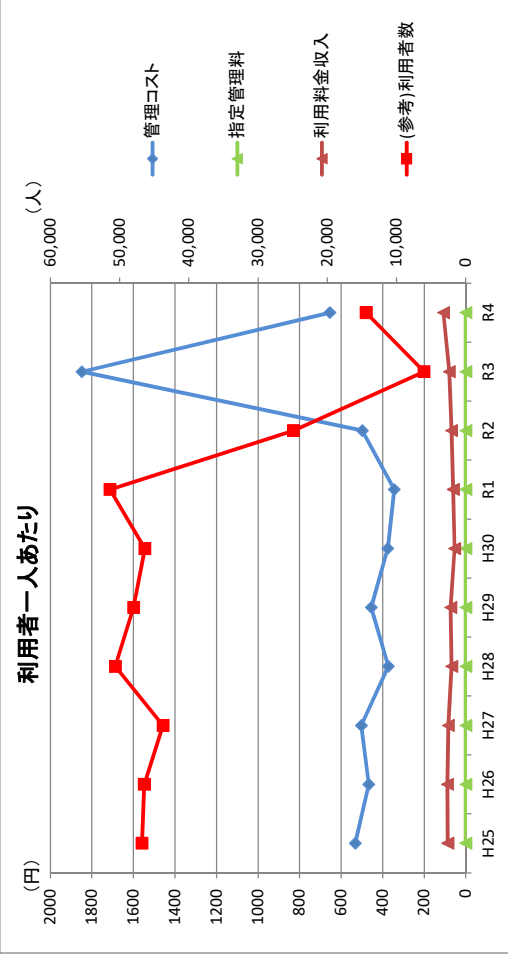
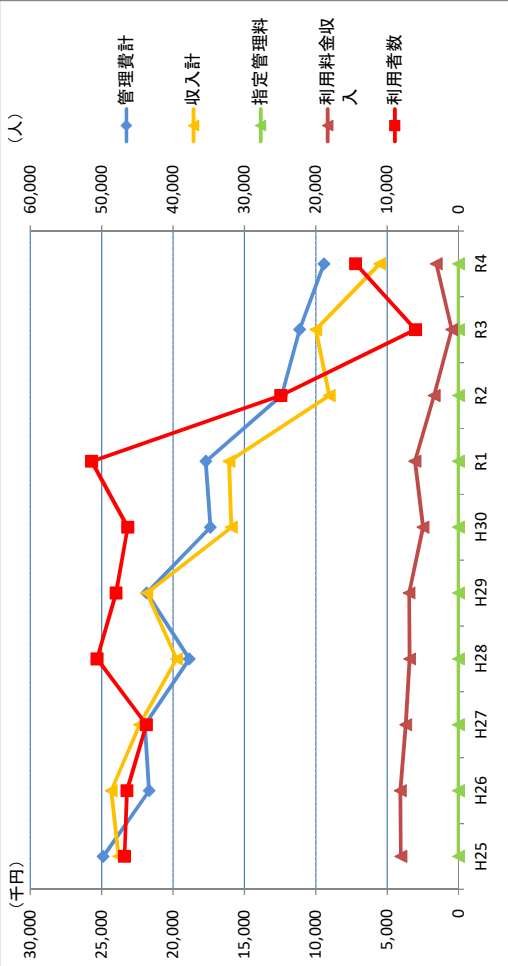
【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称:金武湾港宇壁海浜公園】

指標	うるま市 指定管理																							
	単位	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
成果指標	利用者数	人	56,920	68,833	49,410	39,730	46,350	33,128	17,349	44,482	46,780	46,423	43,723	50,627	47,958	46,330	51,365	24,881	6,019	14,390	47,300	50,000	52,000	55,000
	実績 目標比	%																	32%	32%	0	0	0	0
財務指標	指定管理料	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	原負担割合(指定管理料/管理費計)	%																						
収入計	利用料金収入	千円	2467	3021	2790	4,221	4,266	3,833	2,447	4,430	4,029	4,068	3,679	3,408	3,460	2,478	3,045	1,702	474	1,546				
	利用料金比率(利用料金収入/収入計)	%	48%	24%	23%	28%	28%	21%	15%	20%	17%	17%	16%	17%	16%	16%	19%	19%	5%	28%				
管理費計	収入計	千円	5137	12,669	11,982	14,935	15,242	17,977	16,760	22,467	23,800	24,318	22,327	19,745	21,816	15,898	16,063	9,055	9,993	5,512				
	収支	千円	37936	30,862	29,382	19,066	14,230	13,505	19,823	20,827	24,879	21,664	21,958	18,853	21,832	17,376	17,693	12,384	11,288	9,417				
/単位	収益率(収支/収入計)	%	-638%	-144%	-145%	-28%	7%	25%	-18%	7%	-5%	11%	2%	5%	0%	-9%	-10%	-37%	-11%	-71%				
	一人あたり管理コスト	円	666	448	595	480	307	408	1143	488	532	467	502	372	455	375	344	498	1849	654				
/単位	一人あたり指定管理料	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	一人あたり利用料金収入	円	43	44	56	106	92	116	141	100	86	88	84	67	72	53	59	68	79	107				

※施設の特徴に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前には、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析
 コロナ禍による利用制限や台風接近のため入場者数及び収入が落ち込んだ。
 コロナ禍による休園のため入場者数及び収入が前年度より大きく落ち込んだ。
 コロナ禍による休園のため入場者数及び収入が前年度より大きく落ち込んだ。
 台風の接近が多くBQやマリンスポーツ等の影響が大きく、収入は前年度比減となっている。